

伝統的構法を限界耐力計算にて申請する「いろは」  
～石場建てによる設計法～

伝統的構法の建築物を設計し適切に申請を行い着工へ進めるには現状では膨大な作業量を必要としています。しかし、想いを強く順序良く進められれば道はあり、難関という訳ではありません。その為には序盤より順序良く設計情報の整理を行い、その建築物にあった仕様を構築する必要があります。

また、近年の法改正により石場建てを実施するために限界耐力計算以外の道も生まれました。しかし、その告示を採用するにあたってはいくつかの壁を超える必要もあります。伝統的構法といっても解釈自体が非常に広いものです。その中で思い描くものがどのようにすれば設計図書として作れるものなのか、講師の山中氏が実践した経験をもとにお話しいただきます。

日時 2021年3月27日(土) 13:30~15:20 (13:15 受付)

会場 zoomによるオンライン講習会

講師 山中 信悟氏(湘南支部幹事)  
(株式会社 悟工房 代表取締役)

定員 25名 (建築士会会員対象)

参加費 無料

(申し込み後、事前に zoom の URL  
と pdf 資料をメールで配布します)

申込 3月1日からメールで受付

メール shonan@kanagawa-

kentikusikai.com

問合せ TEL 0467-23-7605

FAX 0467-23-7780



※申し込みメールに返信で zoom の URL と資料 (pdf) を送ります

石場建てによる設計法オンライン講習会 参加申込

3月27日 オンライン講習会に参加します。

会員氏名

会員番号

住所

電話

メールアドレス